

## 第45回東北学生陸上競技選手権大会 要項

(競技会コード6203)

1. 主催 東北学生陸上競技連盟
2. 運営協力 宮城陸上競技協会
3. 日時 平成28年10月21日(金)・22日(土)・23(日)  
第1日目 開始式 8:45 競技開始 9:00  
第2日目 競技開始 9:00  
第3日目 競技開始 9:00 閉会式 競技終了後
4. 場所 仙台市陸上競技場(宮城野原総合運動公園)(競技場コード043150)  
〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-11-6  
TEL 022-256-2488
5. 競技種目 男子22種目  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m  
110mH 400mH 3000mSC 4×100m 4×400m  
10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投  
やり投 十種競技  
女子22種目  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m  
100mH 400mH 3000mSC 4×100m 4×400m  
10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投  
やり投 七種競技
6. 出場資格 平成28年度東北学生陸上競技連盟登録者に限る。申込み前日迄に登録が完了している者。
7. 出場制限 ①個人種目の出場制限はない。  
②リレー種目の出場制限はなく、各チーム6名まで連記できる。  
③**男子混成10種競技は、棒高跳の公認記録を持っている者のみ出場を認める。**
8. 競技規則 平成28年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
9. 参加料 ①個人種目 1人1種目 1000円  
②リレー 1チーム 2000円  
③学校分担金 10名まで 3000円 5名増す毎に500円増  
※学校分担金早見表参照。  
※参加料は申込みと同時に納入すること。
10. 申込方法 (イ) 団体申込一覧表(様式Ⅰ) 1部作成(男女別)  
(ロ) リレー申込一覧表(様式Ⅱ) 1部作成(男女別)  
(ハ) 団体総括申込書(様式Ⅲ) 1部作成  
(ニ) エントリーデータ(Excelデータ)  
※・全てデータ入力形式で行う。(イ)、(ロ)、(ハ)は入力後印刷した書類に捺印して送付すること。  
・(ニ)エントリーデータについては、CD・USB等のメディア媒体を通じた郵送でも、メールでもどちらでも良いものとする。  
・入力の仕方は同封のマニュアルに従うこと。  
※申請中の選手は登録番号欄に『申請中』と明記すること。尚、申込締切前日までに登録が完了しない者は出場を認めない。
11. 申込場所 〒983-0803 宮城県仙台市宮城野区小田原1-5-37

メゾンドール・ヘンミ 1F

東北学生陸上競技連盟 東北学生選手権運営係

TEL&FAX 022-706-0624

E-mail [tohokugakuren2992@gmail.com](mailto:tohokugakuren2992@gmail.com)

エントリー担当 090-9428-4515

学連携帯 080-3147-3827

12. 振込先 七十七銀行 荒町支店  
口座番号 0097969 (普)  
口座名義 東北学生陸上競技連盟 代表 藤井 邦夫
13. 申込期日 **平成28年9月28日(水) 午後6時必着**  
**※締切の時点でデータと捺印したうえでスキャンしたもの(PDF)の両方が揃っていない場合、参加を認めない。スキャン出来ない場合は郵送でも可とする。**
14. 表彰 ①各種目優勝者にはメダルと賞状を、2、3位には賞状を授与する。  
②成績の優れた男女各1名を最優秀選手として表彰し、最優秀選手賞を授与する。
15. 代表者会議 平成28年10月20日(木) 午後3時 会議室1 (会議室1)
16. 宿泊 当連盟HPにアップする宿泊要項を参考のこと。
17. 注意事項 ①ナンバーカードは平成28年度本連盟作成のものを使用すること。但し、5000m、10000m、3000mSC、10000mWについては通しナンバーカードを使用する。  
②競技場は全天候型であるので、スパイクのピンは9mm以下を使用すること。但し、走高跳、やり投は12mm以下とする。  
③器具破損の場合はその競技者の所属する大学より実費を徴収する。  
④参加者の競技中の発病、負傷に対して主催者は応急処置以外の責任は負わない。ただし、平成28年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。  
⑤当日における棄権は原則として認めない。但し、やむなく棄権する場合には、招集所まで不出場届を提出すること。  
⑥不足書類のない様、確認の上申し込むこと。  
⑦不正スタートは1回で失格となる。但し不適切行為を行った場合、1回目は警告に留めるが、同一の競技者が2回目以降、(別の競技でも)同様な行為を行った場合それぞれ不正スタートを行ったものとしてあつかうので、注意すること。  
⑧競技用具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいない。ただし、投擲物及び棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。投擲物については競技開始1時間前に競技役員の検定を受けること。  
⑨三段跳において、踏切板の距離はエントリー時の競技者レベルに応じて決定する。  
⑩十種競技において、出場競技者数によっては棒高跳をダブルピットで行う場合もある。